



題材名:『フトク・トラベル』で、行程や準備物、活動内容などについての説明を聞いて、質問をしたり、メモに書き留めたりして、該当する旅行プランを選ぶ

## 指導要領の段階と内容

知・技 :イ(イ) 必要な語や語句の書き留め方や、比べ方などの情報の整理の仕方を理解し使うこと。

思・判・表:ア身近な人の話や放送などを聞きながら、聞いたことを簡単に書き留めたり、分からないときは聞き返したりして、内容の大体を捉えること。

学び :言葉がもつよさに気付くとともに、いろいろな図書に親しみ、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

## 題材目標

知・技 『フトク・トラベル』で、旅行プランの説明を聞く時、自分に必要な情報がわかり、日時、集合・出発時刻、集合場所、予算、行程、必要な持ち物・総額・服装について、わからないことを質問したり、聞き取った情報をメモに書き留めたりする

思・判・表 必要な情報(日時、集合・出発時刻、集合場所、予算、行程、必要な持ち物・総額・服装)を聞き取る時、自分に必要な情報を考え、メモに書き留めておくべき情報を判断し、わからないことを質問したり、メモに書き留めたりして、メモを使って該当する旅行プランを選び、友だちに説明する

学び 質問したり、メモに書き留めたりして、旅行プランを選ぶ課題に繰り返し正しく取り組む

## 授業づくりの手順

- 前題材までの到達状況から表出像を列挙する
- 列挙した表出像を段階化する
- 段階化した表出像の一覧から、グループの在籍生徒それぞれの指導内容の範囲を決定する
- 指導内容の範囲となった表出像に必要な知識及び技能を列挙する
- 各児童(生徒)の指導内容(知・技)の習得のために知識及び技能の内容を細分化・段階化する
- 細分化・段階化した知識及び技能の一覧と題材終了時までの表出像を実態表の項目として、児童(生徒)の実態を把握する
- 実態把握の結果から、中心として取り上げる知識及び技能を決定する
- 知識及び技能と思考力・判断力・表現力等の指導の計画を立てる
- 教材の仕組みを決定する
- 学びに向かう力・人間性等を涵養するための計画を立てる

### ※表出像…思考から判断の過程を経た結果、未知の課題を解決する児童生徒の姿

#### 【教材と仕組み】

- 日常生活に必要な情報(日時・場所・持ち物・料金など)を網羅する教材 →メモを活用して旅行プランを選ぶ学習内容を設定
- ①教師の説明を聞いて、必要な情報をメモに書き留める
- ②メモをもとに、該当する旅行プランを選ぶ
- ③必要な情報が聞き取れているか、正誤判断をする
- ④判断した理由を教師や友だちに説明する



| 観点    | 評価  |
|-------|---|
| 知・技   | 説明を聞いて、わからないこと(説明されていない情報)を質問したり、自分に必要な情報をメモに書き留めたりすることができた           |
| 思・判・表 | 説明を聞いて質問をしたり、メモに書き留めたりして、メモの内容と旅行プランの内容を照らし合わせて、条件に該当する旅行プランを選ぶことができた |
| 主体的な姿 | わからない情報について自分から質問したり、必要な情報をメモに書き留めたりして、課題に繰り返し取り組む姿が見られた              |



## 生徒の実態・将来の価値性を考慮した指導内容・教材の設定

○生徒の実態…説明を聞き逃すことや必要な情報がわからなくなることが多い  
 そこで…説明を聞く→必要な情報をメモに書き留める→メモをもとに○○をする、という学習を設定  
 ※卒業後の生活…作業内容をメモに書き留めて、確認しながら作業に取り組むなど

<メモ>  
説明を聞く際、聞き取った情報を書き留めるために使用する

|       |  |
|-------|--|
| 名前( ) |  |
| メモ    |  |
|       |  |
|       |  |
|       |  |
|       |  |
| その他   |  |

項目ごとに箇条書き → 必要な情報を整理

|    |   |
|----|---|
| 日時 | 11月28日～11月30日(2泊3日)   |
| 場所 | 京都市内  |
| 行程 | 11月28日 9:00 大分駅出発(ソニック・新幹線利用)<br>※出発時刻の30分前にお集まりください<br>12:00～ 清水寺・嵐山観光<br>29日 9:00～ 京都市内観光(自由行動)<br>30日 11:00～ 京都駅・買い物(1時間)<br>18:00 大分駅着・解散<br>総額 55000円(宿泊費・交通費込み)<br>持ち物 御朱印帳をお持ちの方はご持参ください |

<旅行プラン>  
旅行プランを判断する際、聞き取った情報と旅行プランの内容が合致しているか判断するために使用する

説明する内容  
→メモを取る必要性が感じられるよう、内容や情報量を調整



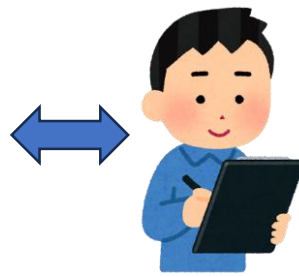
## 必要な情報を判断したり、わからない情報を質問したりするための工夫

○聞き取った情報を確認したり、わからない情報を質問したりするために…「聞き取りチェックリスト」

<聞き取りチェックリスト>  
聞き取った情報を確認する際、わからない情報がいないか確認するために使用する(1～3時間目に使用)

※段階的に支援を減らすために…  
4時間目 :1問目のみチェックリストを使用  
5～6時間目:事前に聞き取る情報(項目)の確認  
7～8時間目:確認なし

|                                     |              |
|-------------------------------------|--------------|
| 聞き取り                                |              |
| <input checked="" type="checkbox"/> | CHECK LIST   |
| <input type="checkbox"/>            | 日時           |
| <input type="checkbox"/>            | 集合(開始、出発等)時刻 |
| <input type="checkbox"/>            | 集合場所         |
| <input type="checkbox"/>            | 予算           |
| <input type="checkbox"/>            | 行程           |
| <input type="checkbox"/>            | 必要な持ち物       |



○メモの記入後、メモとチェックリストを見比べ、聞き取れているか確認 →わからない情報、聞き逃した情報がある場合は質問・聞き直しをする

## 考察

- <成果>
- ・メモの取り方…箇条書きや、項目ごとにまとめて書くことでメモに書き留めるスピードの向上、聞き逃しの減少
- ・質問…チェックリストで必要な情報のイメージが構築 →チェックリストがなくても、「集合場所はどこですか」などとわからないことを質問
- <課題>
- ・質問のパターン化…チェックリストに記載された項目のみ質問する姿【ex. 毎回、持ち物のことだけを質問する生徒】
- 【改善】問題のランダム化(旅行プランのレイアウトや条件など)したり、情報の種類を段階的に調整したりする(情報を増やす)ことで、必要な情報を判断して質問することができた